

今後5ヶ年における重点施策1

重点的な整備箇所の宣言

県内外の交流を促進し、活力ある奈良県づくりを進めていく上で重要な役割を担う幹線道路ネットワークの早期形成を目指し、重点的に整備を進める箇所を宣言します(以下、「重点整備宣言箇所」という。)。

ア)県土を縦断するものの、災害に脆弱であるにも関わらず、迂回路もなく、自動車同士のすれ違いが困難な箇所があり、安全・安心な交通機能の確保を図る上で信頼性に課題のある幹線道路

■ 国道 168 号(五條市)



イ)地域の雇用に大きく寄与する企業と自動車専用道路を結ぶアクセス道路やスマートインターチェンジ

■ 昭和工業団地(大和郡山市)



重点整備宣言箇所に
集中投資!!

ウ)急速な市街化の進行等により、自動車交通需要が交通容量以上に増加した幹線道路

■ 国道 168 号(王寺町)



エ)踏切等の存在により著しい渋滞が生じているボトルネック箇所

■ (主)奈良大和郡山斑鳩線(大和郡山市)



今後5ヶ年における重点施策2

地域の活性化を促進する道路整備の推進

経済活性化のための企業立地を支援する道路整備の推進

企業立地の促進による地域経済の活性化を支援するため、県や市町村が推進する企業立地施策を実現するための道路整備を推進します。



県や市町村が策定する観光振興のための計画を支援する道路整備の推進

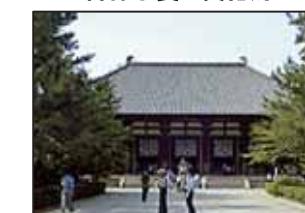
観光振興による地域の活性化に計画的かつ積極的に取り組む市町村を支援するため、県や市町村が策定する計画を実現するための道路整備を推進します。

法隆寺地域の仏教建造物



法起寺三重塔

古都奈良の文化財



西の京（唐招提寺）

飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群



石舞台古墳

紀伊山地の霊場と参詣道



吉野山

農林業の活性化を支援する道路整備の推進

奈良の農林資源を活かした農林業の振興、農山村地域の活性化を支援する農林道整備を推進します。

柿産地を抜けるフルーツロード



小ギク産地と広域農道



林道を利用した木材搬出



今後5ヶ年における重点施策3

便利で快適な生活を支える 道路サービスの提供

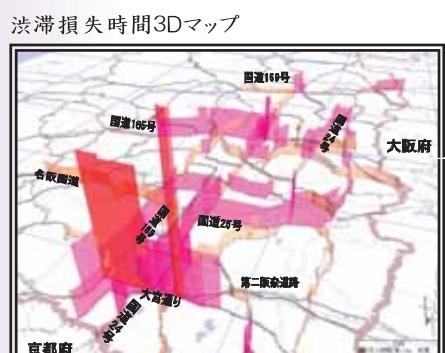
客観的データや道路利用者の意見を踏まえた優先整備箇所の選定による効果的な渋滞対策の推進

客観的なデータや道路利用者の意見等を加味して優先的に対策を行う箇所を選定するプロセスを導入し、「(仮称)奈良県渋滞解消見える化プラン」を策定し、公表の上、計画的に実施します。

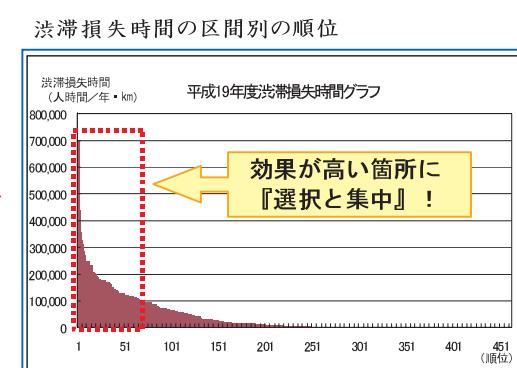
■(仮称)奈良県渋滞解消見える化プラン

ハード対策、ソフト対策を合わせて効率的・効果的に渋滞対策を進めます。

＜客観的データに基づいて優先的に対策を行う箇所を抽出するイメージ＞



赤い柱が高いほど渋滞が著しいことを表しています。



パークアンドライド等の推進による適切な自動車利用の促進

特定の時期、あるいは地域において課題となる渋滞の緩和に取り組みます。

■ 奈良公園周辺の渋滞



バス等公共交通機関の利便性向上のための取組みの推進

地域住民の移動手段を確保するため、既存の路線バスの利便性の向上や、特に中山間地域においてコミュニティバスによるネットワーク整備等、公共交通機関の利用促進計画を策定します。

■ コミュニティバス(桜井市)



【用語解説】

渋滞損失時間：ある区間を通行する場合、渋滞しているときとスムーズに通行できたときに要する時間の差の合計。
パークアンドライド：奈良県では、観光に訪れる車両を渋滞エリア周辺に設置した駐車場に誘導し、バス等の公共交通機関に転換させることで渋滞を緩和させる取り組みを推進しています。

今後5ヶ年における重点施策4

安全で安心な暮らしを提供する 道路サービスの提供

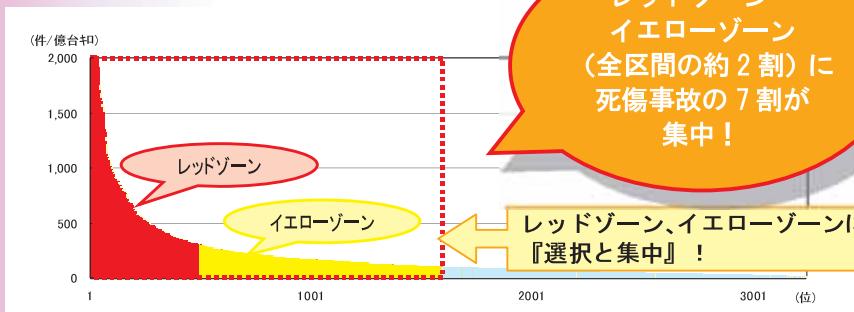
客観的データや県民の意見を踏まえた優先整備箇所の選定による効果的な交通安全対策の推進

交通事故データや県民からの意見等を加味して優先整備箇所を選定するプロセスを導入し、「(仮称)奈良県交通安全対策見える化プラン」を策定し、公表の上、計画的に実施します。

■(仮称)奈良県交通安全対策見える化プラン

効果の高い箇所に対して集中的に取り組み、効率的・効果的に交通安全対策を進めます。

＜奈良県の交通事故発生の区間別順位＞



『レッドゾーン』: 事故率300件/億台キロ以上の区間
S45年頃の交通戦争(全国の年間交通事故死者数約17,000人)レベルと同じ水準
参考: 平成20年の交通事故死者数5,155人(全国)

『イエローゾーン』: 事故率100件/億台キロ以上の区間
全国の国道及び都道府県道等の平均値
欧米の平均値を上回る水準

『早期発見・早期対策』による緊急輸送道路等の安全性の向上

緊急輸送道路の確保、集落の孤立化等の観点や学識経験者の意見を参考に「(仮称)道路防災実施計画」を策定の上、計画的に防災対策を実施します。

また、広域的な支援活動や緊急物資の輸送に必要なネットワークを確保する観点や学識経験者の意見を参考に「(仮称)橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、公表の上、計画的に橋梁の維持修繕、耐震対策を実施します。

■(仮称)橋梁長寿命化修繕計画(事後保全から予防保全への転換)

これまで…

【事後保全】

損傷が進行してから対応 ⇒ 大規模修繕(高コスト)



これからは…

【予防保全】

健全度を把握し、損傷が進行する前に対応 ⇒ 簡易な修繕で対応可能(低成本)



予防保全への転換でトータルコスト縮減！

都市部や中山間地域において、市町村が策定するまちづくりや地域づくり計画を支援する道路整備

地域住民の生活の質の向上に計画的かつ積極的に取り組む市町村を支援するため、市町村が策定する計画を実現するための道路整備を推進します。

今後5ヶ年における重点施策5

快適に“なら”を楽しめる質の高い道路サービスの提供

わかりやすさを重視した案内板や標識の整備

本県を訪れる多くの観光客が、目的地まで迷わずに到達でき、快適に観光することができるよう、わかりやすい案内板や標識を整備します。

■ わかりにくい案内標識(奈良市)



■ 改善イメージ



景観に配慮した道路整備や沿道景観の形成

周辺環境と調和する道路構造物を採用するとともに、可能な限りの無電柱化、街路樹による緑化等を推進します。世界遺産にアプローチする幹線道路等は、道路の適切な管理、沿道の建築物や広告物等の規制誘導等とあわせて、良好な沿道景観の形成を推進します。

■電線類の地中化(奈良市)

[整備前]



[整備後]

■周辺環境と調和する道路構造物の採用(明日香村)



「道の駅」における地域の情報提供の強化

地域の特産品を提供する直売所の充実などによる「道の駅」のサービス強化、地域の情報等の幅広い発信や「道の駅」相互の連携を強化します。

■ 県内の「道の駅」



宇陀路大宇陀



鈴鹿 T-R-S

健康的で快適な暮らしを支え、自然や歴史環境との交流を促す歩行者・自転車空間の形成

自然や歴史環境とのふれあいや観光地での周遊環境を改善するとともに、歩くことや自転車利用を通じた健康づくりを支援するため、質の高い歩行者・自転車空間の形成を推進します。

■安全に観光する上で問題がある箇所(奈良市)



■自転車道の整備(大和郡山市)



社会環境の変化に応じて、道路行政の進め方を改革します

■ 道路行政の進め方の“4つ”的改革

『選択と集中』による
効率的・効果的な
事業展開

▼経済活性化、効率的・効果的な
地域づくりや道路サービスの向上を目指した『選択と集中』
① 地域間の競争力を強化し、企業誘致
「供用目標宣言路線」や「重点整備箇所」に対して『集中投資』を行います。
② 道路利用によって生じる課題を解決
利用者の視点も加味し、課題の大きい箇所への『選択と集中』を行います。
③ 中山間地域において、災害に脆弱で
安全・安心なアクセス機能の確保を
図る上で信頼性に課題がある箇所の早期解消に向けた『選択と集中』を行います。

透明性の確保・県民との
コミュニケーションの強化

▼県民の皆様のご理解とご協力を
共有するなど、透明性の確保や
得ながら事業を進めていくため、自動車交通によって生じる課題を県民等と
コミュニケーションの強化
① 渋滞・交通安全対策について、客観的なデータに加え県民等の意見を加味して優先整備箇所を選定し、
効果が地域ニーズと乖離していないかを問い合わせ等により確認していきます。
② 県民との協働による快適な道路空間の維持向上を通じた魅力あるまちづくりを進めるため、美化活動等へのボランティア参加のさらなる呼びかけを行っていきます。

コスト縮減を徹底する
ための取組みの強化

▼地域のニーズから求められるサ
ービスレベルや自然条件、計画・設計段階から、維持・管理・更新段階に至る
トータルコストなど、総合的な
コスト縮減を徹底するための取組みの強化
① 高度経済成長時代に建設した橋梁が
一斉に更新時期を迎えるため、事後保全から予防保全への転換による
橋梁の長寿命化・トータルコストの縮減に取り組みます。
② 地域の状況や道路の利用実態に応じて、全線を2車線整備するのではなく、1車線整備と待避所設置等を組み合わせた
1.5車線的道路整備を積極的に推進します。

ソフト施策や
工夫改良の取組みの強化

▼ハード整備だけでは課題に十分
に対応できない場合が発生しているため、県民や道路利用者への影響を出来る
だけ減らし、道路サービスの向上を図るために、ソフト施策などの取組みの強化
① 渋滞エリア周辺にパークアンドライ
ド駐車場を設置し、渋滞エリアへの流入を抑制するパークアンドライド施策を推進します。
② 地域固有の事情に応じたきめ細やかな路上工事の集約・抑制や路上工事による通行規制情報の周知を行っていきます。
③ 道路側溝の蓋掛けや歩道の段差解消による歩行者の安全性の向上など、極力用地買収せずに道路の機能改善を図るなどの工夫改良を行っていきます。

(参考) 整備事例と事業中箇所のご紹介



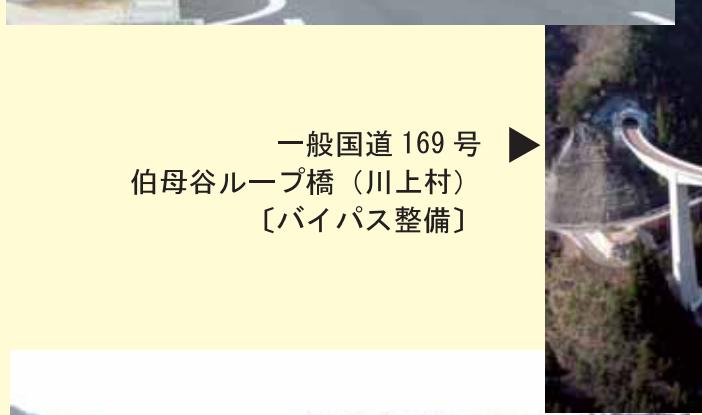
◀ 一般国道 168 号
一分バイパス（生駒市）
[バイパス整備]



木津横田線
(奈良市)
[無電柱化]



◀ 一般国道 368 号
小屋道路（御杖村）
[道路改良]



一般国道 169 号
伯母谷ループ橋（川上村）
[バイパス整備]



◀ 一般国道 168 号
宇井地区（五條市）
[災害復旧]

JR 関西線・桜井線 ◀
JR 奈良駅付近連続立体交差事業
(奈良市)



◀ 国道 168 号
王寺道路（王寺町）

都市計画道路 中和幹線 ◀
下田工区（香芝市）



◀ 都市計画道路 中和幹線
桜井東工区（桜井市）

一般国道 168 号 ◀
辻堂バイパス（五條市）

